

「オスプレイいらない」市民の声！ 木更津で習志野で

木更津地駐屯地に日の丸オスプレイ(陸上自衛隊)が配備(7/10-7/16)され、それから4ヶ月、9月の予定だった試験飛行がコロナで部品が調達出来ないとの理由で延期されていました。

11月6日に7/10飛来した1機が10時30分ごろから駐屯地飛行場内でホバリングの試験飛行を行いました。7~17mほどの空中に止まった状態でプロペラを回転させ計器・油圧のチェックや操舵性の確認などをチェックしたとの事。

かなり重たく低いプロペラ音が基地の反対側の中ノ島公園のほうにうるさく響いてきました。

「オスプレイ来るないらない住民の会」の呼びかけで多くの市民が集まり監視・抗議の行動を。中ノ島大橋から基地に向かって「オスプレイいらない!」の抗議の声を上げました。



習志野・八千代・船橋市民集会

「オスプレイいらない市民集会」が2020年11月7日薬円台公園(13:30~)で開かれました。600人ほどの市民が集まり「習志野・八千代・船橋にも、木更津にも、千葉県中にそして日本のどこにもオスプレイはいらない」と訴えました。

立憲民主党・共産党・社民党・新社会党・れいわ新撰組・緑の党・市民ネット千葉県など立憲野党の諸党派も参加し挨拶。日本学術会議6名任命拒否による学問の自由の破壊、敵基地攻撃論で専守防衛を打ち捨てようとする菅政権の問題を指摘しつつそれと連なる大きな問題としてのオスプレイの木更津配備の危険性が語られました。オスプレイ実戦配備と整備拠点の強化が日米軍事一体化・強化の流れの中にあると。



木更津住民の会の野中さんからは、オスプレイの問題点が語られました。

○オスプレイは今飛んでいるヘリコプターCH-47 などと同じルートを飛んで訓練する。
だから超低空飛行区域も飛ぶのです

○佐世保の「水陸機動団」と一緒に活動する。(米軍との一体行動も)

○横田基地に空軍オスプレイ CV-22 が 5 機(将来 10 機)、木更津に陸自オスプレイ 17 機、木更津が米海兵隊・米海軍のオスプレイの整備拠点に強化と、首都圏・関東でオスプレイが推し進められている状況を見ていると木更津は最初から配備の予定ではなかったのかと思えてしまう。



○オスプレイを整備している民間企業を海外でも活用すると米軍が言い出している(こんなこと許されるのか)。

○米軍のオスプレイと一緒に訓練するようになるのでは・・・米軍の指揮下で日米オスプレイの整備(後方)から実践(前線)まで一体化が推し進められるのでは?

○防衛省は言っています「日米共通整備基盤は後方分野における日米協力の象徴」と。日米軍事一体化の象徴として木更津のオスプレイがあるのです。

多くの問題点が指摘されました。



木更津を中心に首都圏の、日本中のオスプレイの一大拠点が作られようとしています。墜落の危険性、低周波のうるさい騒音で市民の日常生活が壊れてしまいます。

参加者は集会後、公園～習志野基地～習志野駅とデモを行い「オスプレイいらない」と訴えました。

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

*活動報告 HP に掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。